

## 「感染症予防と介護の新3K」

令和2年3月

社会福祉法人遠淡海会 神久呂の園

理事長 水谷 博

冬が過ぎ、ひな祭り、桜の花、新緑、こいのぼりと例年なら、心も浮き立つ季節ですが、今年は新型コロナウイルスの影響で、世界中で多くの人々が感染し、複数の人々が亡くなっていることが連日報道されています。社会福祉施設においても、全国各地の保育所・こども園、高齢者施設（デイ、特養等）において、5人以上が感染したクラスターが発生しています。

当法人の各施設においては、感染予防のため、ご利用者の皆さんには手洗いの励行をお願いするとともに、職員には、手洗い、マスクの着用、登庁前後の検温、施設内のアルコール等による消毒を徹底するとともに、神久呂の園及び乳児院においては、ご利用者のご家族による施設内での面会や、外部ボランティアの方々の訪問等をご遠慮いただき、感染防止に法人全体で取り組んでいます。また、神久呂の園では、ご利用者は外出やご家族の面会の機会もなく寂しい思いをされておられることから、職員が誕生会や、コーヒータ임을設け、施設内でご利用者が楽しんでいただけるような行事を実施しています。今後は天気の良い日には、施設屋上での日光浴を楽しんでいただくことや、ご家族に対してもご利用者の近況をお便り等でお知らせし、安心していただけるよう工夫していきたいと思えます。

そして、1日も早く新型コロナウイルスが終息し平穏な毎日が戻るよう、私たち一人一人が「密集・密閉・密接」を避け、全員で団結、協力して外出自粛等の感染予防に努め、社会全体の安全の確保に努めていきたいと思えます。

また、新型コロナウイルスの影響で、飲食業やホテル、娯楽施設等の業界は休業を要請され厳しい経営を余儀なくされており、全国の有効求人倍率も1.39倍と3年半ぶりに1.4を下回り求職が厳しい状況になりつつあると報道されています。

なお、万一特養等のご利用者や職員が新型コロナウイルスに感染した場合には、ご利用者の隔離や職員の自宅待機等により、施設での介護をどのように維持・継続していくかについて実効ある事業継続計画（BCP）の策定等に取り組んでいます。特に介護を維持していくためには、介護職員をいかに確保するかが大きな課題となります。従来から介護業界は人材の確保に苦慮しており、今回の新型コロナウイルス対策のみならず、今後、中・長期的に介護人材を確保するための方策を模索していかなければなりません。そこで、介護について従来の「きつい」等の3K職場として後ろ向きなイメージを変えて、介護の現場で生き生きと活躍している職員からの声を反映し、地域の皆さんが介護を前向きなイメージでとらえていただけるよう、静岡県では、「**介護の新3K**」として①【感謝を分かち合える仕事】、②【心がつながる仕事】、③【感動できる仕事】の3つを公表しています。

これらの介護のイメージアップに加え、神久呂の園においては、介護現場をより魅力ある職場とするため、令和元年度から介護職員の給与等の処遇改善を更に進めるとともに、介護ロボットや介護記録等の事務作業にタブレット等を導入し介護業務のICT化を進めています。今後とも、介護職員が笑顔でお年寄りに接することができるよう、明るい介護現場の実現に職員全員で努めていきたいと思えます。

